

家庭保存版

南海トラフ地震の情報に伴う学校の対応について

東日本大震災から数年がたちましたが、未だ震災の傷跡は消えず、復興に向けての取組がなされています。西日本でも今後、南海トラフ地震等の発生時には大きな被害が予想されています。地震に遭遇したとき、迅速かつ適切な行動をとることが重要です。大地震を想定して、下記のように対応してまいりたいと考えておりますので、協力いただきますようお願い致します。

またご家庭においても様々な場合を想定して、行動の仕方を話し合っておいて下さい。

気象庁は、南海トラフ地震発生時、その危険度に応じ、地震臨時情報を下記の3つの段階で発表します。

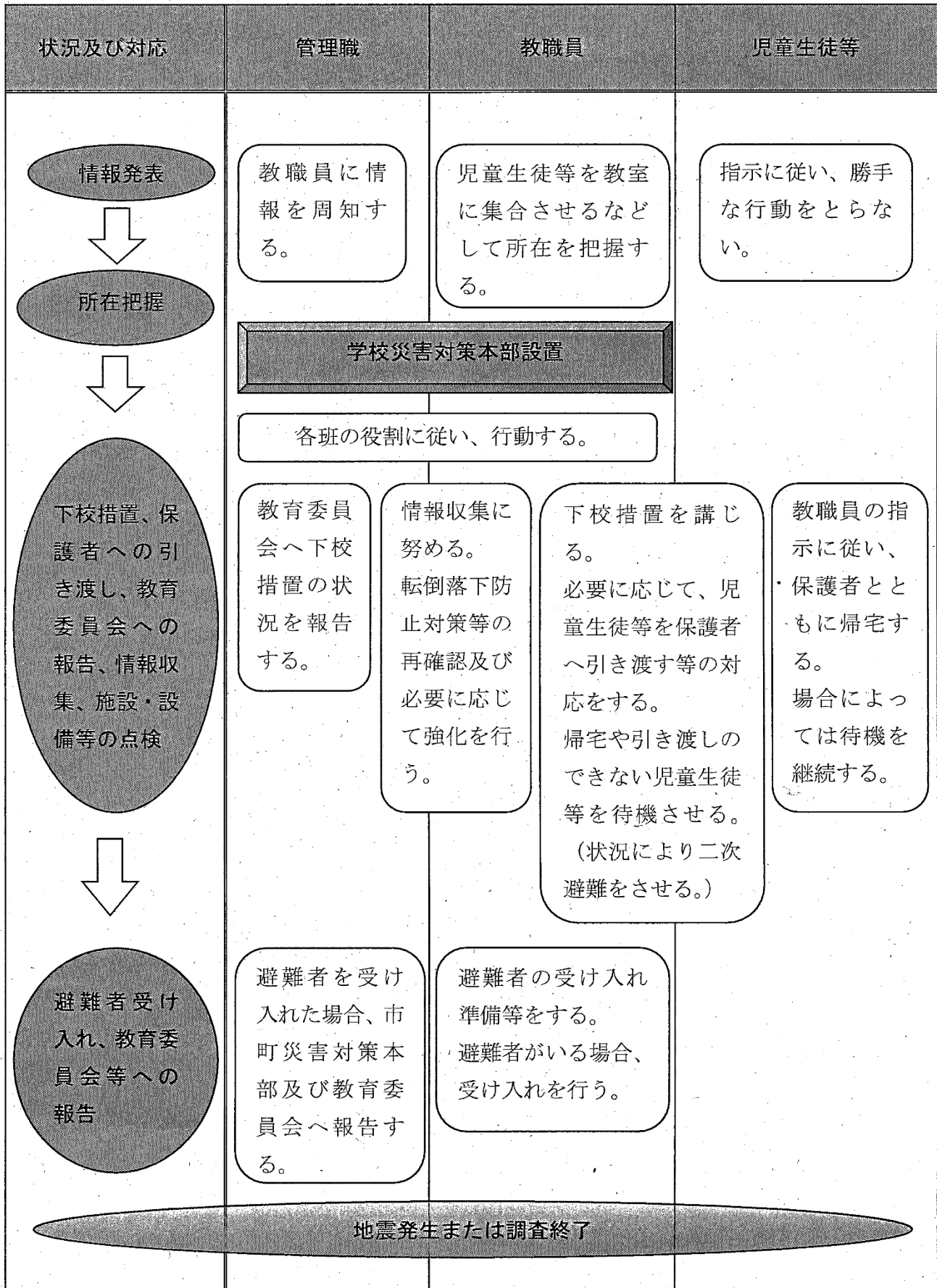
南海トラフ地震臨時情報		
調査中	巨大地震注意	巨大地震警戒
<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から地震への備えを確認する。 ・情報を収集する。 ・平常どおり過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集に努める。 ・状況に応じて休校や下校の措置を講じる。 ・避難者等の受入準備を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集に努める。 ・学校災害対策本部の設置 ・避難者等の受入準備を行う。

学校における南海トラフ地震対策としての授業の打ち切りや下校・休校措置は、下記のように「南海トラフ地震臨時情報」の巨大地震注意・巨大地震警戒が発表された時点で行うこととしますので、ご理解とご協力をお願い致します。

記

- (1) 生徒が在校中に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意や警戒が発表された場合には、情報収集するとともに、状況に応じて学校で待機、または、すみやかに下校させる。
- (2) 生徒が登下校中に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意や警戒が発表された場合には、帰宅することとします。
- (3) 生徒が在宅中に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震注意や警戒が発表された場合には、自宅待機とします。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）発表時の児童生徒在籍中対応フロー



※児童生徒等が在宅中に情報が発表された場合には、休校として登校させない。